

R6年度UUカレッジ・履修証明プログラム「地域防災モデレーター講座」 R6年9月20日(金)～R7年2月28日(金)の期間中に実施されました。

地域デザイン科学部 コーディネーター 土崎 雄祐

地域防災モデレーター講座は、地域デザイン科学部の専門科目「防災マネジメント I」(後期・金曜5-6限)と「地域防災」(後期・集中講義)に加え、関連するイベント等に参加する地域防災特別講習で構成されています。2つの授業科目では、大勢の学生と一緒に座学やワークショップ、オンデマンド授業に参加しました。特別講習では、留学生との防災まちあるきや災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練などに参加し、平常時と災害時に地域住民に期待される役割を考えました。この講座は、今年度初めて開講しましたが、受講された3名の方には半ばモニターとしての役割も担っていただきました。今後も、宇都宮大学の特徴的な取組として定着させたいと思っています。

集中講義「地域防災」 2月 鹿沼消防本部訪問



VR防災体験車 →

UUカレッジ5期生 高久 博行

今回の講座では、地域防災の授業や体験活動を通して多くのことを学ぶことができました。特に鹿沼市消防本部訪問では、地元消防団との交流や放水体験、救命法体験、土嚢づくりなど貴重な体験をすることができました。中でも、VR防災体験車体験では、地震、火災、風水害の災害を臨場感ある映像で疑似体験することができました。今後は、今回の講座で学んだことを、自らの防災対策と地域の防災活動につなげていきたいと思っています。

UUカレッジ2期生 栗原 美佐子

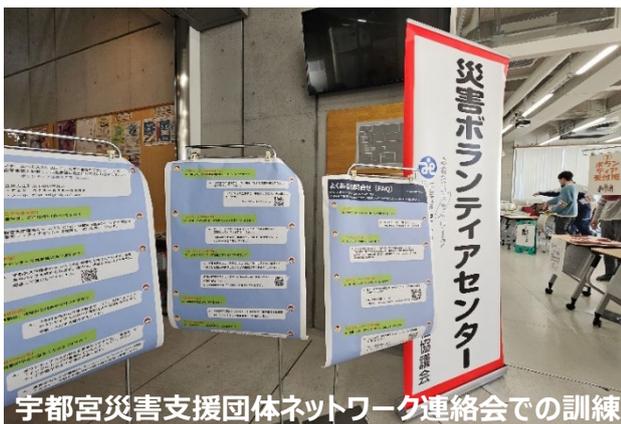
地域防災の基本は、まず自分の命を守り、周りにいる身近な人の命を守ることで、地域防災の理論と実践について学ばせていただきました。印象に残るのは実際に体験した「防災まちあるき」です。班ごとに宇大周辺を歩きながら「危険な場所」と「役に立つ場所」を見つけ地図に書き込み、陽東キャンパスにもどってから模造紙にまとめて発表交換しました。班により視点の違いがあり、グループワーク(GW)ならではの気づきがありました。日常の何気ない散歩でも「危険な場所」と「役に立つ場所」を意識して歩くことも必要なことだと思いました。

イベント 12月 GWの様子→ 留学生との防災まちあるき↓



UUカレッジ5期生 高尾 俊則

地域防災モデレーター講座で、半年の間に沢山のことを学びました。対面授業やオンデマンド授業の他に消防団訪問、地域防災シンポジウム、留学生とのまちあるき、宇都宮災害支援団体ネットワークなどの防災関連イベントに参加し、大学内外で活動を行う皆さんと、議論や訓練を行いました。お陰で防災やボランティア活動が身近に感じられるようになりましたので、今後に行かせたいと思います。先生方はじめ、関係した皆様、有難うございました。



宇都宮災害支援団体ネットワーク連絡会での訓練

ともまなび Season1 開催 レポート

UU カレッジ受講者有志グループ (2期生) 小田川典子

UU カレッジでは、色々な学びの場をご提供頂いていますが、その一つ「メンターゼミ」に参加し、皆さんの経験や学びを聴く機会があり、すっかりその世界に魅了されてしまいました。



それぞれが歩いてきた道には、その人が放つひかり（それは、自分では分からないものかもしれません）があって、そのひかりに触れることで、自分の知らない世界を追体験することができました。そしてその世界をもっと知りたい、深めたいと強く思いました。廣瀬先生にそんな想いをお伝えしましたら、ご賛同いただいた上に、一緒に活動してくださる方々を見つけてくださり、「ともまなび」の船出となりました。

令和7年2月13日(木)～26日(水)の期間に宇都宮大学峰キャンパス5号館C棟2階の宇大アカデミーラウンジにて開催されました「ともまなび Season1」についてレポートいたします。

第1回 2月13日(木) 10:00～12:00

♡わたしのボランティア活動

= ろんご（論語）から始まった子育て支援 =

♡発表者 1期生（現在は修了者）長谷川道夫さん

♡発表の概要

退職後、論語を学ぶご友人と、問題が山積している学校現場で、強く生き抜く心を育てたいという思いで開催した「夏休み親子論語塾」をきっかけに、親子の持つ不安や困難を受け止めながら、参加するお母さん達の居場所となっていく過程を感じるレポートでした。

活動は2011年から形を変えて現在も続いています。

♡参加者の感想（抜粋させていただきました）

- ・傾聴の大切さを学ぶことができた。
- ・ともまなびの意義を感じた。
- ・各年代の社会との関わりを持つことの集大成が、今日あることを改めて感じた。



長谷川さんの発表風景 出席者11名



メンター田巻先生



ドリンクバー??

♡メンターの先生方、ファシリテーターの感想等（抜粋させていただきました）

- ・本日の学びのベースとなる論語について学習したいと思います。時代を超えて普遍的な学び（道徳）万人に幅広く説得する論語について深く学びたいと思います。
- ・学校でもない、自分の家でもない、学びの場は子どもにとって財産だなと感じます。子どもも悩みを抱えているように、お母さん達も悩みを抱えていると、そんな当たり前のことに改めて気づかされました。

第2回 2月20日(木) 10:00~12:00

♡公衆衛生の歴史から観る ヒーローとヘルスプロモーション

♡発表者 2期生 小田川典子

♡発表の概要：公衆衛生は、みんなの健康をみんなで守る活動。

・公衆衛生の歴史は、原因も分からず治療薬もない感染症との戦い。原因菌の発見や薬剤が開発され、感染症の時代は一旦幕を下ろす。その後、生活習慣病が台頭し、個人の生活習慣改善への取組みを社会全体で支援する活動「ヘルスプロモーション」を展開しています。



出席者7名 気温も会場も寒い日でした

♡参加者、メンターの先生方、ファシリテーターの感想等（抜粋させていただきました）

・公衆衛生の歴史を聞くことができ良かった。これから個人に対する考えも変わる。

・ヘルスプロモーションは生活の中で実は多く使われていることだと改めて思った。UU カレッジの中にもコミュニティができてあり、そのことで、学ぶための勾配がなだらかになるなら、ヘルスプロモーション的に捉えることができると思った。

第3回 2月26日(水) 13:30~15:30

♡地球環境のはなし = オゾン層破壊と地球温暖化を中心に =

♡発表者 5期生（第1期生からの継続） 高尾俊則さん

♡発表の概要

- ・南極観測隊に2度参加され、地球環境に関わる仕事をなさってきた。
- ・オゾンホールやオゾン層破壊物質が確認され、その対策としてフロンガス使用が規制される。オゾンホールは改善の兆しは見えるが、オゾン量の回復にはまだしばらく時間が必要とのこと。
- ・地球温暖化の現状と今後に向け、私たちのできる事は何か…との示唆に富むお話で閉められた。

♡参加者、メンターの先生方との意見交換会（抜粋させて頂きました）

オゾン層が温暖化に与える影響が理解できた。/温暖化が叫ばれているが、人間はもっと追い込まれないと行動に移すことはできないように思う。/環境問題は切実であり、人類の生き残りについて真剣に考える必要がある。/地球の年齢は47億年であり、人類の歴史などほとんど僅かである。人間という生物もいつか死に絶える日が来るかもしれないが、科学や技術の発展により生きられる期間を長くすることは可能だ。/日本の温暖化対策は遅れているのではないかな？



出席者12名 後ろに並ぶメンター陣

=メンターの先生方からのメッセージ・Season 2に向けて（抜粋です）=

- ・こういった活動は、UU カレッジ内に限らず、たぶん地域またはそれを越えた範囲の皆さんにも有意義な刺激や経験などを共有できそうな感じを受けました。この後の活動の発展を期待しております。
- ・「ともまなび」は是非第二弾を期待します。比較的多くの受講生が集まる場で3回を振り返り、今後の方向性を議論する機会があっても良いかもしれません。今後よろしくお願いします。

「ともまなび」お楽しみいただけましたでしょうか？それぞれのお話と、その方の「人となり」に触れ、誰もがその世界に入りこんだ時間でした。もう少し意見交換が出来たらもっと楽しい時間になったと思います。発表者の皆様、ありがとうございました。

Season 2 企画にご参加頂ける方、発表の自薦、他薦、ご意見や、ご要望等、下記までご連絡お待ちしております。

メールアドレス：uu.matsurika@gmail.com